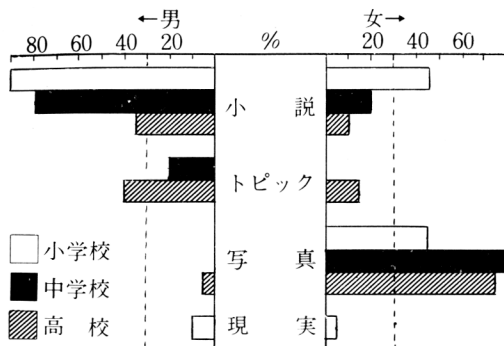


週刊誌がおもしろいというのが、上級学年へといくにつれて多くなり、つづけてみたいも、中学校の男子は、欲求度が他より多いようである。いやな感じは、女子の方が男子より多くなるのは性差なのかと思われるが、とらえ方はわが身とひきくらべていやな感じとなったり、みたくない感情がでているようである。禁止されるといっそうみたくないと思うし、つづけてみたい感情も、男子が女子より多いのは、好奇心のあらわれが結果にでたと思う。

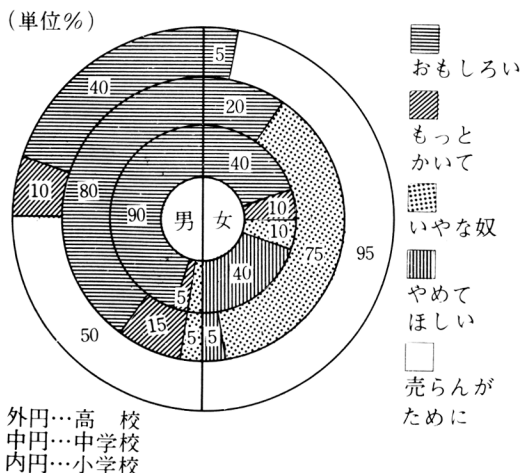
〔調査7〕 週刊誌の表現で何が興味がありますか。(面接調査)



小・中学生で興味を示すのが、男女ともに小説と答えているが、マンガの小説もあるので、この種のものに興味があるが、反面トピック的なことは、上学年にいくにつれて多くなる。

写真を眺め、それをきれいだとか、美しいという感覚が育つのは、女性が敏感で男女の差がみられる。現実的なことは小学生に関心があり、意欲がこの部面にあらわれたが、実際は瞬間的に興味を示すのかどうかという疑問も残る。

〔調査8〕 作者、出版者をどう思いますか。(面接調査)



面接調査をするとおもしろいという意見は、女性より男性に多くみられ、もっと続けて書いて欲しいという要望は、中学生が小・高生に比して多く、15~20%前後となる。やめてほしい意見は小・中の女子にみられ、自己とくらべてみて、いやらしい感情がでたのではなかろうか。高校生になると自己の確立もされてくるのか、売らんがためにかく商業主義という見方が育ち、反面やむをえないだろうというあきらめと、売れるからかくのだという意見に変化してくるあたりは、注目してみたい。

〔調査9〕 雑誌、テレビ、映画などにセックス

(性)のことがよくできますが、これをみ

て、どんな感じがしますか。

1. たいへん楽しい……A類型群
2. 少し楽しい
3. つらいことが多い……B類型群